

## 表紙の説明

### 早春の琵琶湖

さまざまな歴史とロマンを秘めたこの母なる琵琶湖は人々を旅情に誘います。

## “Ohmi” in the future

### ●CONTENTS

巻頭言	2
地球温暖化防止－われわれにできること－	3
21世紀の環境問題－持続可能な社会の条件－	7
容器包装リサイクルは必要か？	12
ヨーロッパエコツアー見聞記	16
琵琶湖の水産資源の回復に向けて	18
財団のひとりごと	19



財団の給餌風景

## 編集後記

地球温暖化が話題になる昨今、とは言え今年の冬も結構寒い日々が続きました。

早いところでは、まもなく木々の雪釣りや、薦巻こもきが取り外され、自然が生き生きする春がやってきます。

ところで、機関誌「明日の淡海」第3号に掲載しました財団のひとりごと「琵琶湖を禁漁に」（今こそ、琵琶湖の固有魚類を守る）に対して、今回、県農政水産部水産課より琵琶湖の水産資源の回復に向けての新しい取り組みとして資源管理型漁業について投稿を戴きました。

この機関誌は、これまで学者等の研究成果や環境保全に関する取り組み等を一方的に発信してきました。今回のように財団の意見に対し別の観点から投稿が寄せられ、紙上を通じての意見交換を多くの読者が読み、考えていただく。これは環境機関誌の原点ではないかと思っています。今後とも読者の投稿を期待しています。

21世紀は私たちの生存が問われる「環境の世紀」であると言われています。

環境問題の解決には一人ひとりの心の中に環境に対する思いやりが大切です。

21世紀は環境に対して思いやりのある人が一人でも多く育ってくれることを祈っています。

## 原稿の募集について

機関誌「明日の淡海」では、環境や自然に関心のある方々の意見・提言等を募集しています。

- ・環境問題に対する考えや環境施策への意見・提言等
- ・環境に優しい暮らしにつながる意見・提言等
- ・美しい自然や自然保護に対する意見・提言等

※採用分には薄謝進呈

※当財団まで郵送・メールまたはFAXでお送り下さい。

## 発行

財団法人 淡海環境保全財団

〒520-0807 大津市松本一丁目2番1号  
滋賀県大津合同庁舎内  
TEL.077-524-7168  
FAX.077-524-7178

Eメール ohmi9@mx.biwa.ne.jp  
ホームページ <http://www.biwa.ne.jp/~ohmi9/>

印刷 ねっこ共働作業所

本誌は資源の有効活用のため再生紙を利用しています。